令和７年度　基本評価調書	所管部局	保健福祉部	所管課	医務薬務課

施策名	薬物乱用防止対策の推進			施策コード	0414
政策の柱	安全・安心			政策体系コード	2(6)A
関連重点戦略計画等				事務事業数	2
特定分野別計画					
SDGs				総合判定	やや遅れている
予算額（千円）	R5	7,208千円	R6	7,540千円	R7	7,561千円

施策目標	薬物乱用防止の啓発推進や薬物依存者の社会復帰支援・再使用防止のための関係機関等の連携強化、野生大麻等の除去作業、麻薬等医薬品の正規ルートからの不正流出を防止等するための医療機関等の立入検査及び指導の強化。
現状と課題	（薬物乱用防止に係る啓発活動の実施） ・薬物乱用は国内において深刻な社会問題であり、特に大麻事犯の検挙人員は毎年増加、年齢低下の傾向にある。そのため、関係機関・団体が連携し、青少年を対象にした薬物乱用防止教室を含む各種啓発活動等を実施する必要がある。 （野生大麻等の除去作業の実施） ・道内に自生する野生大麻の不正使用を未然に防止するため、関係機関と連携し、その撲滅に取り組む必要がある。 （不正な薬物使用に対する取組） ・麻薬、向精神薬、覚醒剤及び覚醒剤原料の適正な管理と流通の確保を図るため、法令等の周知徹底及び監視指導等を行う必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（薬物乱用防止に係る啓発活動の実施） ・薬物乱用防止指導員研修会の実施 ・ポスター、会報の作成・配布 ・街頭啓発、パネル展等の開催 ・青少年等薬物再乱用防止支援事業の実施 （野生大麻等の除去作業の実施） ・重点地区を中心とした野生大麻除去活動の実施 （不正な薬物使用に対する取組） ・医療機関等に対する立入検査の実施 ・医療用麻薬適正使用推進講習会事業の実施
実績と成果	（薬物乱用防止に係る啓発活動の実施） ・薬物乱用防止指導員研修会（令和6年8月30日開催）に、北海道薬物乱用防止指導員19名が受講し、薬物乱用防止啓発体制が維持・推進が図られた。 ・学校等で薬物乱用防止教室を開催し、啓発が図られた。（R4年度：61回、R5年度：75回、R6年度：96回） ・ポスター・リーフレットの作成・配布や、令和６年度薬物乱用防止対策実施要綱及び令和６年度青少年等薬物乱用防止対策推進方針による啓発活動、パネル展（令和7年2月4～5日）等を実施することにより、道民に対する啓発が図られた。 ・令和６年度薬物中毒対策連絡会議（令和6年11月12日開催）に、道内医療機関の精神保健指定医が出席し、再乱用防止支援体制に係る取組を進めた。 （野生大麻等の除去作業の実施） ・野生大麻の除去（R6年度：314,354本）、不正けしの除去（R6年度：5,557本）により、薬物の不正使用に対する未然防止につながった。 （不正な薬物使用に対する取組） ・麻薬診療施設等立入検査（R6年：1,645件）により、道内医療機関における医療用麻薬の適正管理が図られた。 ・医療用麻薬適正使用推進講習会（令和7年2月15日、ハイブリッド開催）に、医療機関等の医療従事者288名が受講し、医療用麻薬の適正使用に関する知識の習得が図られた。

参考HP①	道HP「薬物乱用防止」	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/yakubutsuranyoboshi-top.html
参考HP②		
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0414】薬物乱用防止対策の推進

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
設定なし			件					－	－
			目標値						
			実績値						
設定理由 *要件(1)(2)*	「成果指標の設定に関する基準」を満たす指標が無いため。								
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*							
分析（主な取組と成果）									

成果指標②	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
			%					－	－
			目標値						
			実績値						
設定理由 *要件(1)(2)*									
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*							
分析（主な取組と成果）									

成果指標③	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						
設定理由 *要件(1)(2)*									
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*							
分析（主な取組と成果）									

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						
設定理由 *要件(1)(2)*									
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*							
分析（主な取組と成果）									

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						
設定理由 *要件(1)(2)*									
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*							
分析（主な取組と成果）									

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0414】薬物乱用防止対策の推進

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） 本道の薬物事犯検挙状況は、毎年600名程度で推移しており、関係機関・団体等が連携して、薬物乱用防止活動に取り組む必要がある。 （取組と成果） 啓発資材の作成（令和6年度：ポケットティッシュ55,000個、リーフレット130,000部）し、道内各地域で啓発活動を実施し、道民に薬物乱用防止の必要性を周知することができた。 道内30保健所及び関係機関・団体等と連携して、道内の野生大麻を除去（令和6年度：314,354本）し、大麻事犯の未然防止に寄与した。
緊急性・優先性	（課題） 大麻事犯に係る検挙人員は増加傾向にあり、特に検挙人員のうち10代及び20代の検挙割合が高いことから、関係機関・団体等と連携して、薬物乱用防止活動に取り組む必要がある。 （取組と成果） 北海道薬物乱用防止指導員や保健所職員等が薬物乱用防止教室の啓発活動を積極的に実施することにより、若年層に対して薬物乱用の危険性を伝え、大麻事犯の未然防止に寄与した。（R4年度：61回、R5年度：75回、R6年度：96回）

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R4	R5	R6
大麻事犯の検挙人員	266人	308人	294人

（課題）

薬物乱用は国内において深刻な社会問題であり、特に大麻事犯の検挙人員は毎年増加、年齢低下の傾向にある。そのため、関係機関・団体が連携し、青少年を対象にした薬物乱用防止教室を含む各種啓発活動等を実施する必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
大麻事犯に係る検挙人員は増加傾向にあり、特に検挙人員のうち10代及び20代の検挙割合が高いことから、引き続き、関係機関・団体等が連携し、青少年を対象にした薬物乱用防止教室を含む各種啓発活動等を実施する必要がある。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	R4	R5	R6
全国の野生大麻除去本数に占める道内割合	34.6%	19.6%	10.1%

（課題）

道内に自生する野生大麻の不正使用を未然に防止するため、関係機関と連携し、その撲滅に取り組む必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
全国の野生大麻除去本数に占める道内割合は大幅に減っており、これは他県の除去本数が増加したことも要因ではあるが、道内の除去本数としても減少傾向であり、撲滅に向け、引き続き取り組む必要がある。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
	R4	R5	R6
保健所及び精神保健福祉センターにおける薬物相談件数	412件	412件	388件

（課題）

覚醒剤は依存性が強く再乱用率が高いため、社会復帰支援や再乱用の未然防止に取り組む必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
令和6年度の相談件数の実績は前年度と比較して減少しているものの、保健所及び精神保健福祉センターにおける相談応需体制を維持しており、薬物に関する相談を受け付け、薬物依存症者の社会復帰支援や再乱用の未然防止に取り組んでおり、相談件数の減は対応体制が原因によるものではない。	b

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0414】薬物乱用防止対策の推進

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	－	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	本道の薬物事犯検挙状況は、毎年600名程度で推移しており、薬物乱用防止対策は引き続き推進していく必要があることから、啓発資材の作成・配布等に取り組む。
	②	
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、薬物乱用防止に向けて、関係機関等と連携した啓発推進、薬物依存者の社会復帰支援や再乱用の防止、野生大麻等の除去作業、麻薬等医薬品の不正流出の防止等を推進することが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	引き続き、指導員の確保に向けて市町村や関係団体と連携するとともに、指導員に対する研修の実施、保健所や指導員による薬物乱用防止教室の開催、啓発資材の作成・配布、SNSを活用した周知啓発などの対策に取り組む。
	②	
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	引き続き、指導員の確保に向けて市町村や関係団体と連携するとともに、指導員に対する研修の実施、保健所や指導員による薬物乱用防止教室の開催、啓発資材の作成・配布、SNSを活用した周知啓発などの対策に取り組む。

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	0414

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0318		一般	覚せい剤乱用防止啓発事業	・薬物乱用防止等啓発事業 ・医療用麻薬等適正使用の目的に関する研修事務	医務薬務課	0	2,711	2,711	1.5	3.1	4.6	40,316	①	改善（取組分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
0319		一般	麻薬等取締費	・麻薬関係法令等の周知徹底及び監視指導等に関する事業 ・野生大麻の除去事業及び啓発活動事業	医務薬務課	0	4,850	0	1.8	5.7	7.5	66,163	①	改善（取組分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
計						0	7,561	2,711	3.3	8.8	12.1						